



Hataraku to Kurasu no Jouhoushi

press mirai

vol.2

発行日
2007.8.1発行者
特定非営利活動法人
ワークスみらい高知

Hataraku to Kurasu

相談支援センター ミライ mirai 開設!



ワークスみらい高知では、現在就労支援事業や共同生活援助事業を実施しています。

障害のある人が地域で暮らしていくためには、こうした直接的なサービスのほか、トータルな生活コーディネートを行うことが必要です。8月1日開設の相談支援センターmiraiでは、就労や生活・医療などをつなげる総合的な支援を行うこととしています。

自分では解決できない、生活のしづらさから起こるさまざまな問題について、具体的な解決をともに考えていきます。お気軽にご利用ください。

利用時間：月曜～金曜 9:00～17:00
※利用に伴う費用負担はありません。

contents

支援センター開設	1
ユーザインタビュー	2
m's のおいしいものpick up	3
トピックス	3
Thanks	4
Voice	4
information	4

相談支援センターmirai
高知市百石町4丁目4-3
TEL088-854-8470
FAX088-854-8471

具体的には、

- ・地域生活でのさまざまな困りごと
- ・障害年金の申請や生活保護の受給、医療費の助成制度について
- ・福祉サービス利用計画書の作成
- ・精神障害のある長期入院者の退院促進支援
- ・入所施設退所支援
- ・グループホームやアパートなど住いについて
- ・働きたいけど自信がない。週に数時間だけ働きたいなどの就労に関する福祉サービスの紹介や公的機関との連絡調整
- ・一般就労に向けた企業見学や実習コーディネートなどの支援
- ・地域住民組織や行政機関と連携し、啓発や研修活動を行い、必要な資源の検討や開発

などに相談支援専門員3名が対応します。よりよい地域生活のためにどうかご利用ください。



ホームページも制作中

<http://www.mirai-support.com>

センターの概要紹介のほか、事業所サービス情報、各種講座や活動情報、さらには自立生活へのヒントなど役立つ情報をタイムリーに発信していく予定です。

Hataraku

ユーザインタビュー

ある程度の喜びを得る為には、つらいことや厳しい事も必要だと思う。

ジタバタしても仕方がないき、一度仕事をしてみたらえい。

ここに来てよかったこと

知っている顔が多かったなので、相談しやすいし、心強かった。

萎縮する事なく、仕事が出来た。そのおかげで、自分なりに考えて、働くことができたと思う。それに、現場スタッフがやさしいので、なんでも話しやすい。



働くことの意味

生活に張りが出て来た。ある程度の喜びを得る為には、つらいことや厳しい事も必要。事業所の時給は一般に比べると低いけど、それなりの対価はある。規則正しい生活を送ると、回りの事が見えてくる。

中には、障害者が仕事をせんといいんの？！という人もいるけど、できるやったらしたらえい。確かに、自立支援法になり、みんなの負担金が多くなり、他の作業所では、やっていけないのでは…と思うこともある。でも、負担の減免してくれているし。

北村さん

(m's factory利用)
高知県出身 34歳
現在市内で一人暮らし。この8月末からは、「二人暮らしになる」と幸せ一杯の様子。平成19年2月から利用開始して7ヶ月目になります。



これからの夢

m's factoryで働きながら、高知県の最低賃金615円まで上がりたいと思える。

9月頃からは、週に5日出勤にして、慣れてきたらフルタイムで働きたい。

その後、2年前介護のヘルパー2級の資格も取ったので、m's factoryでピアスタッフとして働けたらな…と思っちょる。

ひょっとしたら、うどんで、新しいお店を出すかもしれんき、そこでも、頑張っていけたらいいけん。

昔から、祖母に、手に職をつけろ、と言われてきたけん、うどんに手に職をつけていけたら。(笑)

働きたいと思う方へのメッセージ

ジタバタしても仕方がないき、一度仕事をしてみたらえい。

一ヶ月仕事をして、給料をもらってからどうするか考えたらえい。

6年ぶりに一万六千円の給料を貰ってうれしかった。(今現在は、約四万円になっている)

前は、20万近く給料をもらいよったがよ。なんか知らんけど、その時よりずっとうれしかったけんね(笑)

働いた事がある人は、働く喜びを思い出して欲しい。働いた事がない人は、仲間と働く楽しさと、働いて対価を得る喜びを感じて欲しい。

それに、ここはお惣菜やうどん屋をしているので、調理を覚える事が出来るのは特典やで(笑)

料理好きの方にはぜひ来て欲しい！！

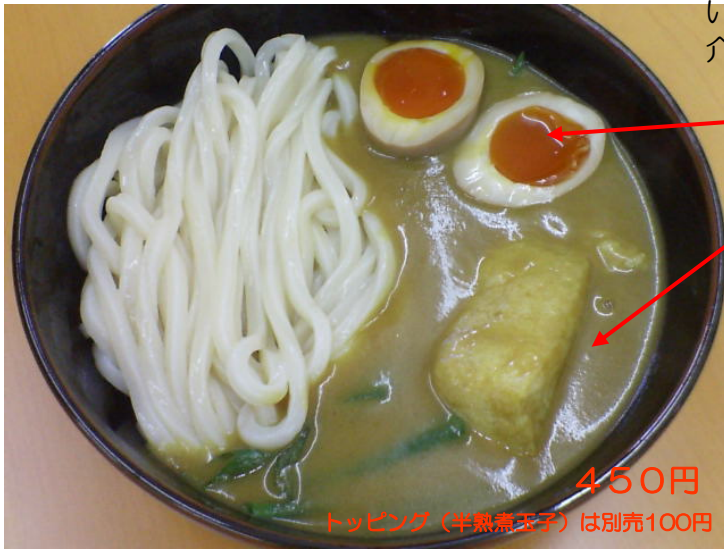


Kurasu

m' s のおいしいもの pick up

カレーUDON

みんなが働くワークスみらい高知の事業所、m' s kitchenとm' s factoryには、おいしいものがいっぱい。ここでは、その中からイチオシのメニューを紹介していきます。



半熟煮玉子が絶妙にマッチ (別売トッピング100円)

ここでしか味わえないクリーミーな特製カレー



m' s factory
高知市神田1408-12
TEL・FAX 088-833-2040

450円

トッピング (半熟煮玉子) は別売100円

ほどよくスパイシーで、クリーミーなカレーは、最後まで飲み干したくなる絶品です。麺のコシをしっかりと楽しみたい方は、冷あつカレーUDONがオススメ。

毎日、自家製麺。
打ちたて、茹でたて。



Hataraku

トピックス

就労継続支援事業A型 (雇用型) を開設へ

現在、就労継続支援事業B型 (非雇用型) として運営中の m' s factory に新しく **A型 (雇用型) 事業** を追加するよう申請準備中です。予定では、10月または11月よりA型事業定員10名、B型事業定員20名の総定員30名のサービス事業所として運営されます。

※サービス説明
A型 (雇用型) 事業とは、事業所と雇用契約を結び、最低賃金を保障されて働く、一般就労にほぼ近いサービス利用の仕方です。



Hataraku

Thanks

車両を寄贈いただきました



日本郵政公社より年賀寄附金助成として、ワゴン車を寄贈いただきました。利用者の送迎ほか、企業見学、レクリエーション等に活用させていただきます。ありがとうございました。



Voice

障害のある人の未来を拓くキーパーソンに、
思いを伝えていただきます。幕明けは、幅広い視野
で精神科医療の明日に取り組む清水 博先生です。

精神科医療と地域生活支援

医療法人精華園

海辺の杜ホスピタル 院長 清水 博



私が海辺の杜ホスピタル（当時精華園）に赴任した1994年4月は、当院はいまだ眠れる象のごとくあり、現在へ繋がる胎動を感じることは出来なかった。政策的には精神科医療の地域化はすでに推進されていたのだが。

巨体を揺さぶるために2年半の年月が費やされた、第1次開華プロジェクトである。収容型精神科病院を地域展開するために、本院から1km程、瀬戸地区の中心地に援護寮を開設することから、海辺の杜ホスピタルの社会復帰を展望したのだった。何より、高知市の歴史空間の中で、医療法人精華園は「あこめ」として排除され続けてきた経過があった。この幻想の位置を書き換えて行く作業が、当院のノーマライゼーションそのものであった。1999年4月援護寮「てく・とこ・せと」を開所することで、精華園が「いま・ここ」に「ある」ことを高知市民に宣言したのだった。以来7年、長期入院ユーザーを地域へ退院させる細々とした試みを続けてきた。

遅々とした歩みに弾みをつけたのは、障害者自立支援法の施行を前に「NPO法人ワークスマイライ高知」と連携を持つ部、地域生活支援部を2006年4月に創設できたからだった。精神科ユーザーに対して、住む場所に加えて「働く場所」を提供しようとするワークスマイライの提案は、高知の精神科医療の未来に一石を投じるものと感じられた。地域に生まれようとする動きに対して、精神科医療の側から積極的に関わることで、精神科医療の新たな展開が引き出されると、直観したのだった。

精神科病床の減少を近未来の必然的事実とし、現在第2次開華プロジェクトとして10年プランを策定しているところである。病床が減ることは、必然的に精神科ユーザーが地域で生活することを織り込むことになり、「住む場所」と「働く場所」が要請されてくる。この作業に精神科医療から地域へ軸足を移した地域生活支援部がNPO法人との連携を持ち続け、重要な役割を担う組織へ発展していくと期待している。一医療法人のためにはではなく、この地域での精神科医療総体の成熟が進行していくものと信じている。

Infomation

ICTセンターみらいと法人事務所が移転しました

高知市北本町に同居していた、ICTセンターみらいとワークスマイライ高知法人事務所がそれぞれ下記に移転いたしました。



ICTセンターみらい
高知市百石町2丁目30-19
TEL088-854-4010
FAX088-854-4011



ワークスマイライ高知
高知市百石町4丁目4-3
TEL088-854-8401
FAX088-854-8402

これからもどうかよろしくお願いいたします。

ロゴマークもリニューアル



<http://www.worksmirai.com/>

<http://blog.goo.ne.jp/wmkochi/>

編集後記

創刊号と第2号の間にたくさんの変化がありました。mirai pressは今月号から毎月発行の予定。未来のための進化をどうかお楽しみに。

特定非営利活動法人

ワークスマイライ高知

高知市百石町4丁目4-3

TEL088(854)8401

FAX088(854)8402

Email: master@worksmirai.com